

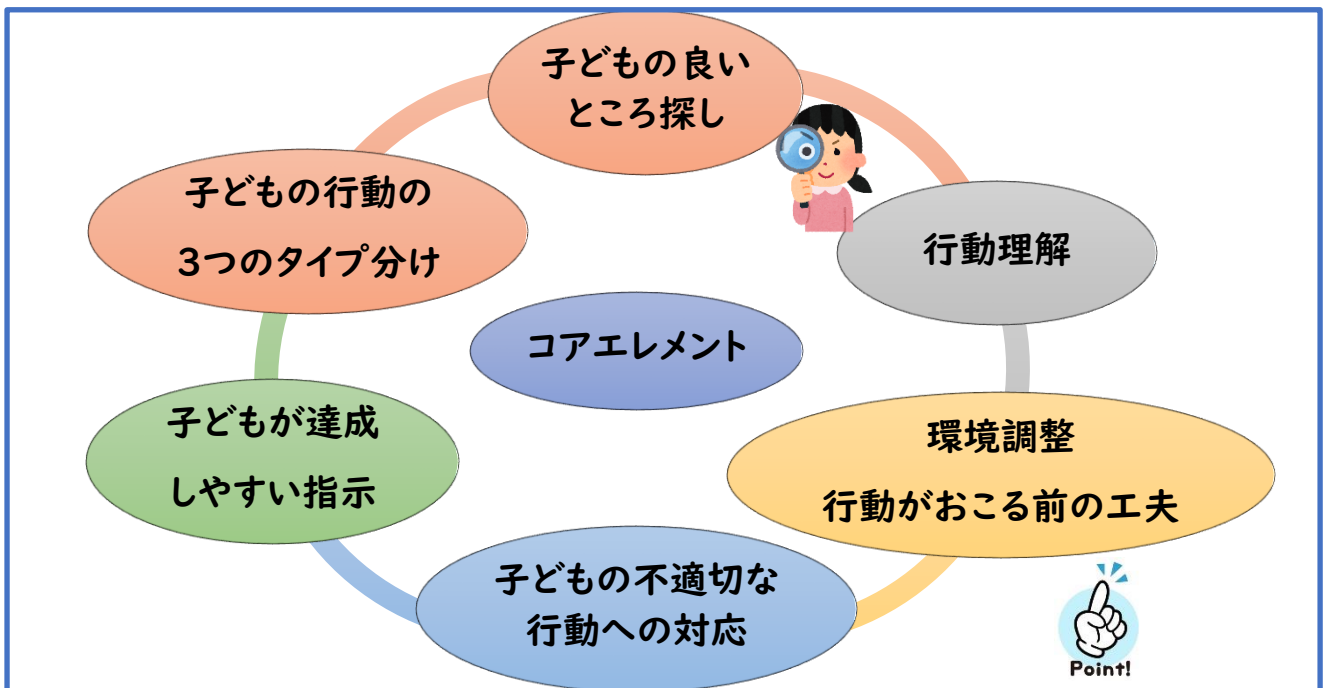
教育相談部だより 令和4年度 第4号



良い関わりをするために・・・

厚生労働省の令和元年度障害者総合福祉推進事業により、「ペアレント・トレーニング実践ガイドブック」が出されました。その事業の一つに、我が国の代表的なペアレント・トレーニングの研究者・実践家らが、これまでのエビデンスが示された様々なペアレント・トレーニングの知見をもとに意見を出し合い、ペアレント・トレーニングの「基本的プラットフォーム」を開発しました。

「基本的プラットフォーム」に示されている「コアエレメント」をご紹介します。



ペアレント・トレーニング実践ガイドブックより抜粋

コアエレメントにあるように、「子どものよいところ探し」は、一度書き出してみたり、ご家族で話し合ってみたりされると良いと思います。当たり前に行えているところに着目し、「こんなところが良いところ」「挨拶ができるな」など、いろいろ見つけると、うれしくなると思います。

「行動の3つのタイプ分け」は、①好ましい行動（増やしたい行動）、②好ましくない行動（減らしたい行動）、③許し難い行動（なくしたい行動）にお子さんの行動を分けてみることです。①増やしたい行動は、すぐ、具体的に褒める、②好ましくない行動は、本人の特性（脳の働きや弱さ）から生じている場合が多いので、注意を外して、褒めるために待つ、③自分や人を傷つける行動や言葉に対しては、きっぱりと、毅然とした対応を行う、というように、一貫した対応をすることで、子どもに自らの行動の結果を通してよくない行動を気付かせ、適切な行動を身に付ける機会ができます。そのためには、関わる大人が行動を区別し、それに合わせた対応をしていくことや、大人自信が自分の心を健康にしておくことが大切だと思います。

電話相談 月曜日～金曜日 9:00～17:00 来校相談 月曜日～金曜日 9:00～17:00

※日程や時間帯は調整させていただきます。

※相談の費用は無料です。相談内容についての秘密は厳守します。



お電話で『教育相談』とお伝えください。TEL:0765-54-1288

教育相談担当教頭: 埜島(のじま)、教育相談部主任 惣万(そうまん)